

## 平成30年の土砂災害発生件数が確定しました ～平成30年は過去最多件数を記録～

国土交通省では毎年、都道府県等からの報告に基づき、土砂災害※<sup>1</sup>の発生件数を集計しております。この度、平成30年に発生した土砂災害の発生件数等が確定※<sup>2</sup>しましたので、お知らせします。

※1 土石流、地すべり、がけ崩れにより、家屋や公共施設に被害が発生した事象。

※2 平成30年12月26日に平成30年の土砂災害発生件数(速報値)を公表しております。

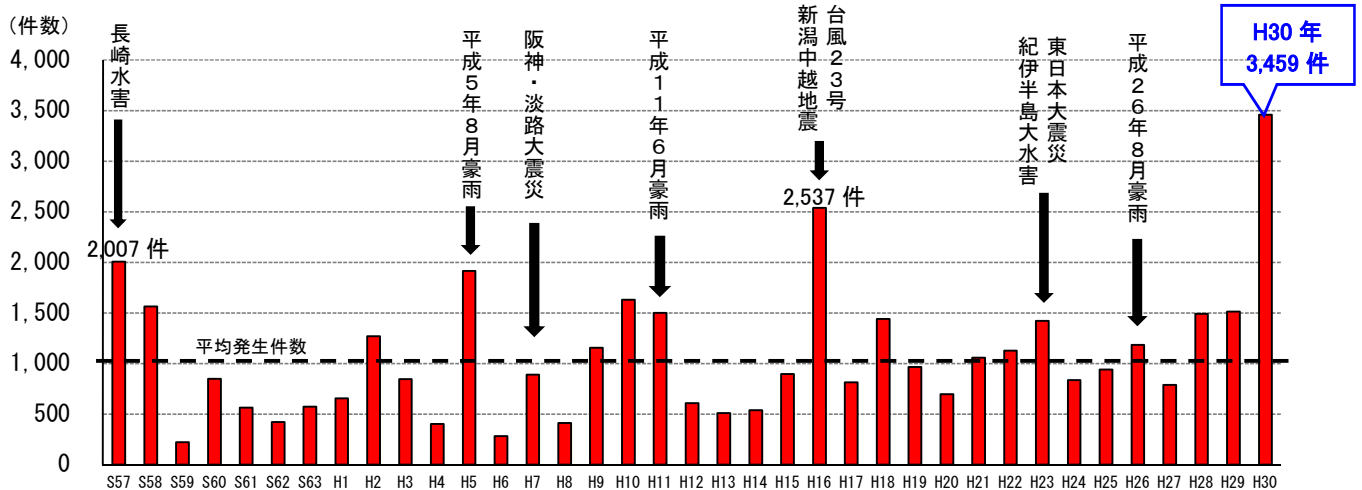


図. 土砂災害発生件数の推移 (S57～H30)

### ■平成30年の土砂災害発生件数は、3,459件(過去最多件数)

1道2府41県で3,459件の土砂災害が発生し、昭和57年の集計開始以降過去最多件数。

(これまでの最多件数はH16の2,537件)

集計開始以降における平均発生件数の約3.4倍(平均発生件数は1,015件(S57～H29))。

死者・行方不明者は161名で、集計開始以降第3位(1位:337名(S57)、2位:174名(H5))。

(問い合わせ先)

国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部保全課 土砂災害対策室

室長 蒲原 潤一(内線 36202)

課長補佐 鈴木 啓介(内線 36232)

代表:03-5253-8111 直通:03-5253-8470 FAX:03-5253-1611

土砂災害に関する情報は、砂防部HP : <http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/index.html>

○年間の過去最多件数を記録した平成16年の2,537件を上回り、集計を開始した昭和57以降、**最多の土砂災害が発生し、集計開始以降における平均発生件数の約3.4倍を記録。**  
 ○1道2府41県で土砂災害が発生し、**死者・行方不明者161名、負傷者117名、人家被害1,505戸**の甚大な被害が発生。死者・行方不明者数は集計開始以降第3位を記録。  
 ○**広島県における土砂災害発生件数1,243件は、集計開始以降において1つの都道府県が経験した土砂災害発生件数の最大値である。**

※ 集計開始以降(S57～H29)の平均土砂災害発生件数:1,015件/年

土砂災害発生件数

**3,459件**

土石流等 : 985件  
 地すべり : 131件  
 がけ崩れ : 2,343件

【被害状況】

人的被害：死者 161名  
 負傷者 117名  
 人家被害：全壊 415戸  
 半壊 566戸  
 一部損壊 524戸

表1. 都道府県別の土砂災害発生件数 上位5県

	都道府県	件数	過去10年最多	過去10年での順位
1位	広島県	1,243件	182件(H26)	1位
2位	愛媛県	419件	58件(H28)	1位
3位	北海道	237件	56件(H26,H28)	1位
4位	山口県	193件	197件(H21)	2位
5位	高知県	171件	122件(H26)	1位

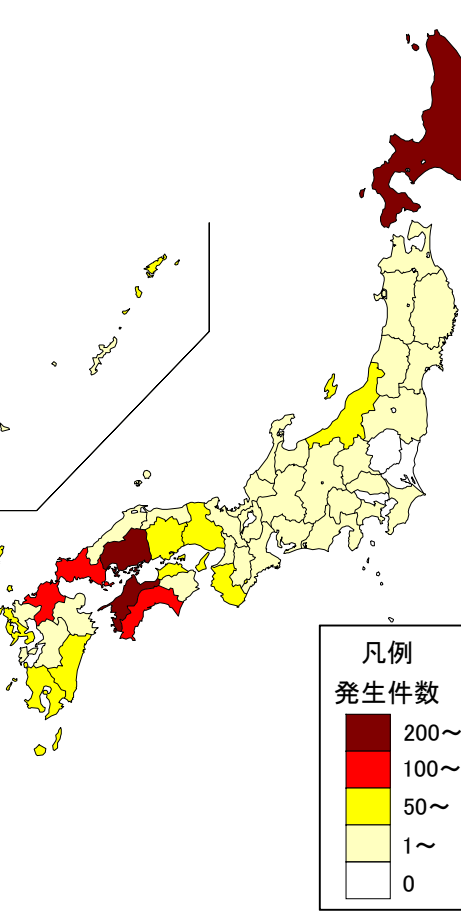


図1. 都道府県別の土砂災害発生状況

## 土砂災害発生件数(都道府県別内訳)

## ○北海道・東北地区

北海道：237件  
 青森県：2件  
 岩手県：4件  
 宮城県：4件  
 秋田県：14件  
 山形県：23件  
 福島県：10件

## ○関東地区

茨城県：0件  
 栃木県：0件  
 群馬県：1件  
 埼玉県：1件  
 千葉県：18件  
 東京都：0件  
 神奈川県：33件  
 山梨県：14件  
 長野県：36件

## ○北陸地区

新潟県：59件  
 富山県：33件  
 石川県：23件

## ○東海地区

岐阜県：15件  
 静岡県：40件  
 愛知県：6件  
 三重県：8件

## ○近畿地区

福井県：2件  
 滋賀県：8件  
 京都府：35件  
 大阪府：12件  
 兵庫県：75件  
 奈良県：10件  
 和歌山県：61件

## ○中国地区

鳥取県：45件  
 島根県：39件  
 岡山県：56件  
 広島県：1,243件  
 山口県：193件

## ○四国地区

徳島県：47件  
 香川県：57件  
 愛媛県：419件  
 高知県：171件

## ○九州地区

福岡県：117件  
 佐賀県：15件  
 長崎県：85件  
 熊本県：16件  
 大分県：14件  
 宮崎県：93件  
 鹿児島県：59件  
 沖縄県：6件

計：3,459件